

場面構成の標識化とそれによる構造的理解の支援

著者	山本 博樹
著者別名	Yamamoto Hiroki
内容記述	筑波大学博士（学術）学位論文・平成12年3月24日授与（乙第1597号）
発行年	2000
その他のタイトル	Signaling and aiding for structural comprehension of scenes' organization
URL	http://hdl.handle.net/2241/6172

筑波大学心理学研究科
博士論文

場面構成の標識化と
それによる構造的理解の支援

Signaling and aiding for structural comprehension
of scenes' organization.

大阪学院大学
山本 博樹

寄贈
山本博樹氏

目次

第1章	標識化の効果の研究する意義 ……………	(1)
1.1	テキストの人間中心デザイン……………	(2)
1.2	標識化の重要性と最適化……………	(5)
1.3	標識化によるテキスト理解の支援効果……………	(10)
1.4	標識化による理解支援効果の問題点……………	(23)
1.5	場面系列の理解と標識化効果の位置づけ……………	(27)
1.6	標識化による系列構造の理解支援……………	(34)
1.7	用語の定義……………	(45)
1.8	目的と構成……………	(47)
第2章	標識化による場面構成の明示 (研究 I) ……………	(53)
2.1	目的……………	(54)
2.2	構成の形式的特徴 (調査1)……………	(55)
2.3	構成の形式的特徴と種類 (調査2)……………	(64)
2.4	構成の形式的特徴と受容性 (調査3)……………	(70)
2.5	場面構成の形式的特徴と受容性 (調査4)……………	(75)
2.6	標識化による場面構成の明示と受容性 (調査5)……………	(79)
2.7	まとめ……………	(87)
第3章	標識化による構造方略の使用 (研究 II) ……………	(94)
3.1	目的……………	(95)
3.2	標識化した場合 (実験1)……………	(97)
3.3	標識化しない場合 (実験2)……………	(115)
3.4	まとめ……………	(125)

第4章	構造方略の処理特性と変更過程（研究Ⅲ）	127
4.1	目的	128
4.2	構造方略の時間特性（実験3）	128
4.3	構造方略の発達特性（実験4）	140
4.4	構造方略の変更過程-目標構造の明示効果-(実験5)	159
4.5	構造方略の変更過程-要点場面の明示効果-(実験6)	176
4.6	まとめ	186
第5章	標識化による修正支援と系列構造の理解 （研究Ⅳ）	197
5.1	目的	198
5.2	標識化の有無と系列構造の理解支援（実験7）	199
5.3	標識化の様式と系列構造の理解支援（実験8）	215
5.4	まとめ	228
第6章	まとめと今後の課題	231
6.1	標識化の理解支援効果のまとめ	232
6.2	本研究の意義と今後の課題	242
	脚注	250
	各章のもとになった論文	252
	引用文献	254
	資料	270
	付記	289